



北 中 だ よ り

学校教育目標「自ら考え なかまと磨き合う 北中」

菊池北中学校
学校だより
No42
文責 芹川博文
2月28日(金)

毎月の職員玄関を飾った「絵」に込めた思い ～ 磨き続けようと志す姿が 彩り豊かな My color ～

4月、「私、描きましようか」と申し出てくれた生徒がいました。あれから毎月、時には友達と共に、北中の職員玄関のウェルカム・ボード(写真左上)の絵を担当して描いてくれた畑 美瑠さん。今回、卒業を前に最終作(右)を描いてくれた後でインタビューしました。

Q1: どんな気持ちで絵を描いていますか。

絵を描くときは、多くの人に見てもらいたい気持ちと、自分の好きなことをやれている嬉しい気持ちがあります。

Q2: 絵を通して何を伝えたいですか、何を感じてもらいたいですか。

絵にテーマがある時は、テーマの良さを最大限に感じてほしいし、一つの工夫だけで絵がガラッと変化し良くなることを伝えたい。

今年度の生徒会テーマ「My color」のとおり、様々なところで、個性を輝かせた生徒たち。その個性を互いが認め合い、磨き合う空気感を感じた1年でした。職員玄関に彩りを添えてくれた畑さん。卒業後も、更に磨き続けようと志す姿が、彩り豊かに輝いて見えました。



まさに「没頭」の時間

～ クラスマッチで感じたスポーツの良さ、北中生の良さ ～

25日(火)、今年度最後のクラスマッチ(バレーボール)が行われました。歓声をあげる生徒の姿から感じたことは・・・。

- ① バレーボールで、自分を伸び伸びと表現する姿
- ② 仲間のために本気で応援し、励ます姿
- ③ 「1年生、強え～」と上級生から言葉が出るほど、学年を超えて熱戦を繰り広げる姿



特に3年生は、最初の準備運動の声から大きな声を出し、試合中も「没頭力」「楽しみ力」をいかに発揮していました。

ふと、「これだけ盛り上がる教科が他にあるだろうか」と、考えました。おそらく「ない」でしょう。そもそも生徒たちは「教科」と思っているのか。教科なのか何なのか分からなくなるくらい「没頭」する時間が、一番学んでいる時なのかも知れません。

思いを語る 「大人の会議」で意見交換

～ 学校運営協議会で思いを語る生徒たちの姿から ～

21日(金)、学校運営協議会がありました。今回、生徒会三役が、簡単な自己紹介の後、委員の皆様からの質問に答えるという時間をとりました。委員さんから「少人数の良さととは、具体的にどんなことですか」や、「菊心祭で、地域の方を呼びたいと言いましたが、どのような方法を考えていますか」などの質問に、生徒たちは次々と思いを語りました。

そして、その対話の中で委員さん方からも、「おじちゃんたち大人に、甘えるところは甘えるとか。」「菊心祭の実行委員会ば立ち上げる時に、おばちゃんたちも呼んで。」など、温かく力強いお言葉をたくさんいただきました。

私が中学生時代、会議の中で大人と意見を交換するなど、考えられませんでした。原稿を読んだり丸暗記して発表したりするのが精一杯でした。しかし、これからの時代は、いかに「思いを伝え合う」かが重要になることでしょう。AIの時代に突入しようとする今、知識だけでなく、自ら考え、思いを伝え合い、納得を得ながら暮らしを良くする力が必要だと、彼らの姿から再認識しました。

